

## 1 学習の準備

○授業の始めと終わりには、つくえの上を整えます。

- \* 筆箱に必要な鉛筆、赤えんぴつ、ペン、消しゴム、定規などを準備する。  
(中学生はシャーペン、ボールペンも可)
- \* 次の授業の準備をしてから、休み時間に入る。(教室を出るときには、いすを入れてから出る。)
- \* ノートに書くときは、下敷きを使う。

## 2 始業と終業のあいさつ

- \* 始業と終業のあいさつについては、学年の発達段階に合わせて工夫する。

### <目指すあいさつ>

- ・児童・生徒は立って背筋を伸ばし、教師に注目する。
- ・「今から○時間目の○○の学習を始めます。お願いします。」
- ・「これで○時間目の○○の学習を終わります。ありがとうございました。」
- ・礼をしたら、また教師に注目する。(一連のあいさつが完結したら、次の動作に移る。)

## 3 発表の仕方・声の大きさ(大きな声で「はい。」と言ってから)

○名前を呼ばれたら、はっきり「はい。」と返事をしてから、静かに立ちます。

- \* 立ってから、状況に応じた声の大きさを発表する。
- \* 黒板などを使って発表する場合には、「いいですか、聞いてください。」と言ってから発表する。

## 4 話の聞き方(発表する人を見て)

○発表する人の方を向いて、発表が終わるまで、黙って聞きます。(おへそを向ける)

- \* 発表が理解できた時は、うなづくなど、発表者に態度で表現する。

## 5 座るとき・本を読むとき・文字を書くとき・タブレットを使うときの姿勢(背筋を伸ばして)

- \* 座るときは、机とお腹を握り拳一つ分空ける。

(足の裏を床にしっかり着ける。)

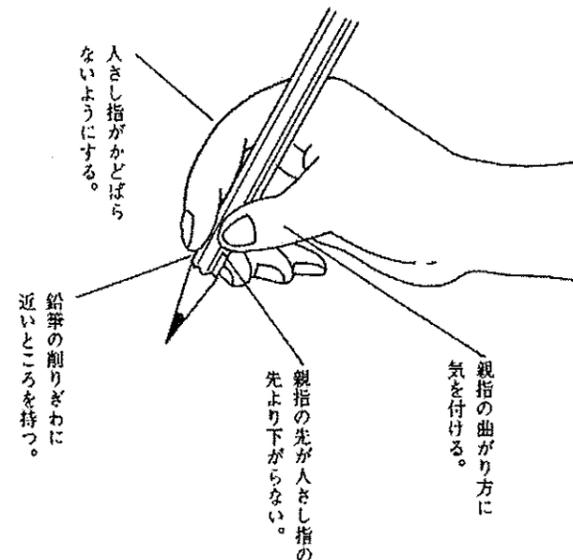
- \* 本を読むときは、両手で持って読む。  
(背筋を伸ばして本から目を30cm程度離して読む。)
- \* 音読するときは、聞き手の準備が整ってから読み始める。
- \* 他の人が音読しているときは、心の中でいっしょに読む。
- \* 文字を書くときは

- ①背筋を伸ばし、いすの背に付けない。
- ②机とお腹の間を少し空ける。
- ③左手でノートを押さえる。

- \* タブレットを使うときは

- ①机の上を整頓する。
- ②タブレットから、目を30cm程度離して使う。
- ③30分使ったら、目を休める。

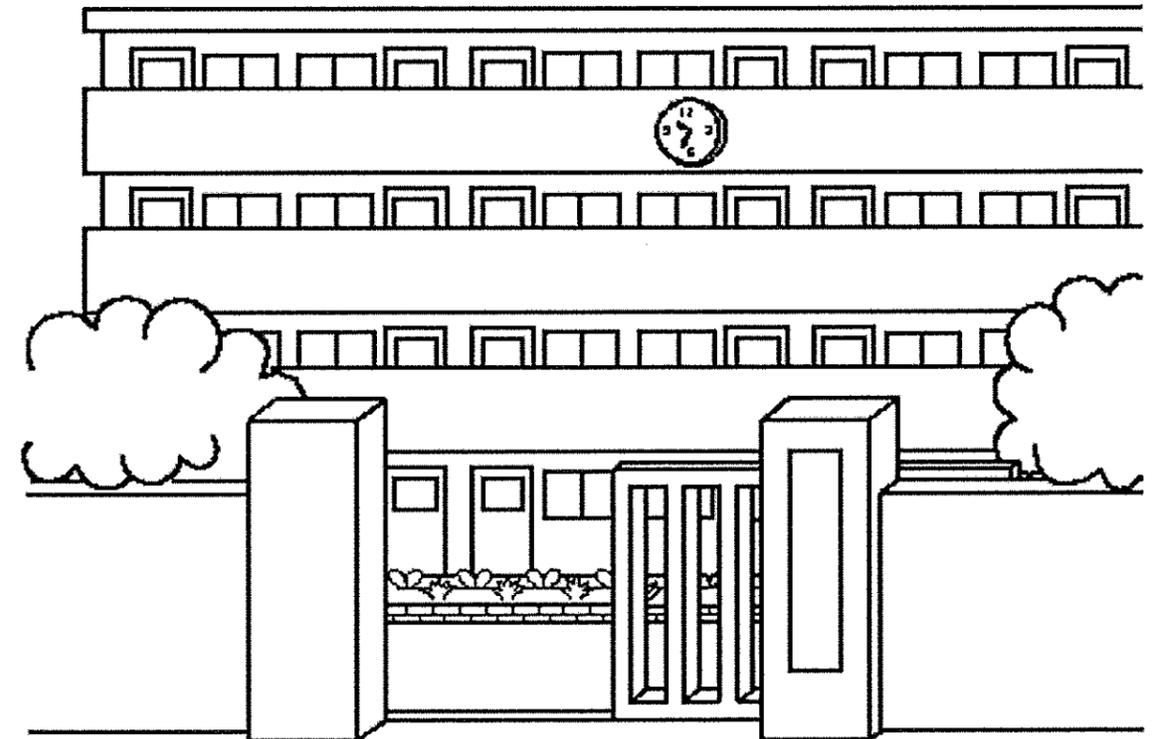
### ※鉛筆の持ち方



R4.7

勝山中部中学校校区

# 学習の手引き



勝山市立成器西小学校  
勝山市立村岡小学校  
勝山市立野向小学校  
勝山市立勝山中部中学校

ケイターこども園  
中央こども園  
しろきこども園

きたこども園  
まつぶんこども園  
野向保育園

目的・勝山中部中学校区の園児・児童・生徒が健やかに成長できるように、校区の小・中学校が一貫性のある教育を推進する。

付きたい力・①自分の考えを声に出して伝える子（1日1回は、手を挙げて発表しよう。）

②自分で考えて、学習を楽しむ子（家庭学習として宿題のほかに、進んで取り組めるメニューを下の表に載せました。参考にして取り組もう。）

③家庭学習を毎日続けられる子（時間いっぱい、ていねいに取り組もう。）

		保育園・幼稚園（5歳）	低学年	中学年	高学年	中学校
自分の考えを積極的に伝えるために	話し方	<ul style="list-style-type: none"> <li>話をしている人の目を見て話す。</li> <li>自分の気持ちを自分のことばで話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢や声の大きさ、速さなどに気をつけて話す。</li> <li>相手を見ながら、はっきりと話す。</li> <li>自分の気持ちを自分のことばで話す。</li> <li>相手に分かるように話す。</li> <li>知らせたいことを選び、事柄の順序を考えて話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な言葉遣いで話す。</li> <li>相手を見ながら、はっきりと話す。</li> <li>伝えたいことを選び、自分の考えが分かるように話す。</li> <li>互いの考えの共通点や相違点を考えながら話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場に応じた適切な言葉遣いで話す。</li> <li>相手を見ながら、はっきりと話す。</li> <li>考えたことや自分の意図について分かるように話す。</li> <li>互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話す。</li> <li>共通語と方言との違いを理解し、必要に応じて共通語で話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いについての知識を生かして話す。</li> <li>全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話す。</li> <li>話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめる。</li> </ul>
	聞き方	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを理解しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表が聞き取れない場合には、「もう一度言ってください。」「もう少し大きな声で言ってください。」と、聞き返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えと同じ点や違う点を比べながら、最後まで聞く。</li> <li>分からない時は、分かるまで聞き直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の考えと比べながら聞き、自分の考えを深める。</li> <li>発表中は、必要なことをメモしながら聞く。</li> <li>発表中は、必要なことをメモしながら聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の考えと比べながら聞き、自分の考えを深める。</li> <li>発表中は、必要なことをメモしながら聞く。</li> <li>自分の考えに付け加えながら聞く。</li> </ul>
自分で考え、楽しい家庭学習にするために		<ul style="list-style-type: none"> <li>親子で会話（一日の出来事・明日の準備・お手伝い等）</li> <li>親子で遊ぶ（絵本・ことば遊び・製作・料理・体を使って遊ぶ・自然とのふれあい等）</li> <li>身の回りの準備・片付けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字練習、視写</li> <li>九九なぞなぞ</li> <li>計算練習</li> <li>音読（国語・九九・たし算・ひき算）</li> <li>日記（絵日記・お手伝い日記）</li> <li>新聞スクラップ</li> <li>eライブラリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字練習、視写</li> <li>詩・俳句・お話作り</li> <li>計算練習</li> <li>実験、料理、観察記録</li> <li>調べ学習（地図記号・市町・都道府県調べ）</li> <li>単元のまとめ</li> <li>日記（なりきり日記・課題自由日記）</li> <li>読書（感想をノートに書く）</li> <li>新聞スクラップ</li> <li>eライブラリ</li> <li>タイピング練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字練習、熟語集め、同じ部首の漢字集め、ことわざ、四字熟語、視写</li> <li>計算練習</li> <li>理科（実験のまとめ、実験器具の図・観察記録）</li> <li>社会（世界の地理、国旗、世界の国々の特色、歴史人物）</li> <li>単元のまとめ</li> <li>日記（課題自由日記）</li> <li>読書（感想をノートに書く）</li> <li>新聞スクラップ</li> <li>eライブラリ</li> <li>タイピング練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テストで間違えたところをもう一度まとめる</li> <li>課題克服学習</li> <li>英単語・漢字など反復練習</li> <li>習ったことの復習</li> <li>これから学習することを自分なりにノートにまとめる予習的学習</li> </ul>
	学習時間	親子で	1・2年：10分～20分	3年：30分 4年：40分	5年：50分 6年：60分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平日 1年生 100分以上</li> <li>2年生 110分以上</li> <li>3年生 120分以上</li> <li>●テスト（中間・期末）前</li> <li>1、2年生 3時間以上</li> <li>3年生 4時間以上</li> </ul>
ふりかえりで、学びを自覚するために		<ul style="list-style-type: none"> <li>親子で一日の出来事を会話する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを書く。</li> <li>できたことや分かったことを書く。</li> <li>できなかったことや次がんばりたいことを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを書く。</li> <li>できたことや分かったことを書く。</li> <li>できなかったことや次がんばりたいことを書く。</li> <li>友達の考えや発表をふまえて書く。（同じ考えだった・ちがう考えだった・自分の考えが変わったなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを書く。</li> <li>できたことや分かったことを書く。</li> <li>できなかったことや次がんばりたいことを書く。</li> <li>友達の考えや発表をふまえて書く。（同じ考えだった・ちがう考えだった・自分の考えが変わったなど）</li> <li>実生活とのつながりや身近に生かせそうなことと関連付けて書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを書く。</li> <li>できたことや分かったことを書く。</li> <li>できなかったことや次がんばりたいことを書く。</li> <li>友達の考えや発表をふまえて書く。（同じ考えだった・ちがう考えだった・自分の考えが変わったなど）</li> <li>実生活とのつながりや身近に生かせそうなことと関連付けて書く。</li> </ul>